



## 今年も積極的に研修に参加しています！



### ミリスクール 2017 ~超純水・純水編~ 分析の要！「水」の基本を学んできました！

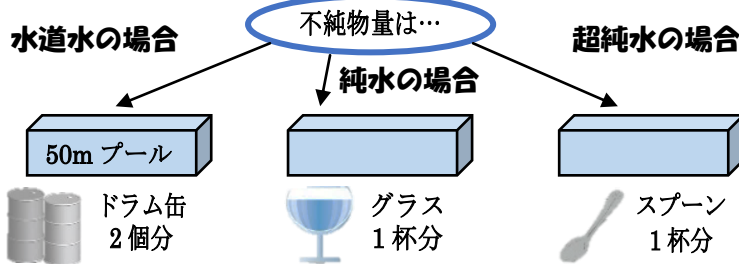
#### 学び① 超純水・純水って何？



分析では「純水・超純水」と呼ばれる水が使われています。これらが一般的な水と違うのは、純水は水道水に不純物除去のための処理を施した水で、超純水は純水をさらに精製した水であるという点です。

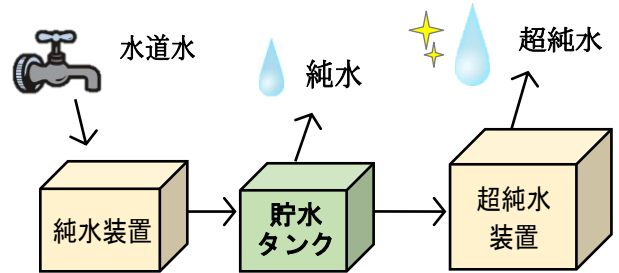
#### 学び② 水には不純物がどれだけ含まれているのか？

例えば、50m プールにそれぞれの水が入っているとします。水道水の場合、その中に含まれる不純物量はドラム缶約 2 個分です。同じように純水の場合だと約グラス 1 杯分、超純水の場合だと約スプーン 1 杯分、不純物が含まれています。



#### 学び③ 純水・超純水はどのように作られるのか？

一般的に下記のような仕組みの「超純水製造装置」を使って作られます。



弊社では、容器の水はこまめに交換する、とくに週末や長期休暇の前は水を貯めすぎないようにするなど、水の管理に気を付けています。

また使用する際も採水口を清潔に保つように、一人一人が心がけています。

**☆分析はご安心して弊社にお任せください☆**

### イオンクロマトグラフィー技術講習会

~分析条件を考える~

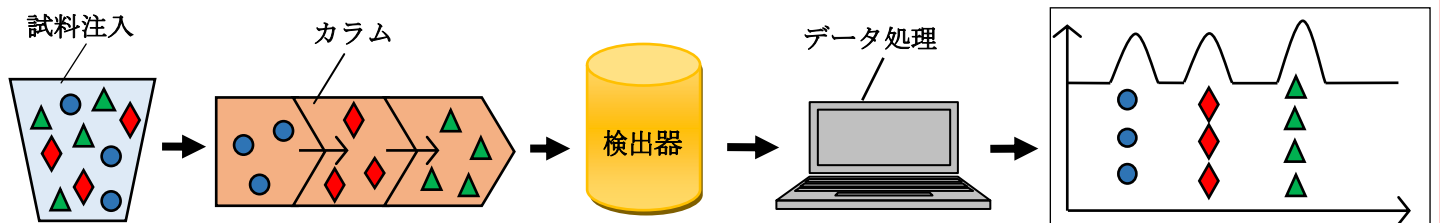
この講習会では、弊社でも大活躍している「イオンクロマトグラフィー」について理解を深めてきました。この装置は、水溶液試料中に含まれるイオン成分を測定することができます。

弊社で主に測定している物質は、フッ素、塩素、アンモニア、硝酸・亜硝酸、ナトリウム・カリウム・マグネシウム・カルシウムなどです。測定時間は 1 試料あたり 20~30 分程度です。濃度が高い試料・不純物が多い試料ほど装置に仕掛けるまでの前処理に時間がかかりますが、成分を一斉に感度よく分析してくれます。講習会では前処理の適切な方法や、分析条件などについて詳しく学んできたので、それらを日々の業務に生かしています。



#### 【クロマトグラフィーとは】

まず、試料を装置に注入します。その後、試料は装置内部のカラムを通して成分ごとに検出器まで運ばれます。そして検出器に到着した成分の順に、パソコン上でグラフ(クロマトグラム)に表されます。川では小さい石ほど速く下流へ流されていくように、カラム内でも性質上速く検出器に到達した成分からグラフに表されます。試料のグラフと標準物質のグラフとを照らし合わせ、時間やピーク(グラフ上の山)などから、成分を判断します。このように、クロマトグラフィーを使えば性質の違う物質を見事に分けることが可能です。



## 米インターンシップ @ネクスト環境

弊社は今年もインターンシップ活動に参加し、6月に山形県立米沢工業高等学校の2年生に職場体験に臨んでもらいました。今年は爽やかなあいさつが印象的な男子が来てくれましたので、分析のほか採水業務も体験してもらいました。外回りの際、元気のよいあいさつをする姿をみて、こちらも清々しい気持ちになりました。分析でも一度の説明で内容を覚え、個々の作業に集中して取り組んでいたため、こちらも不安を感じることなく指導できました。

活動後の感想文にはこの体験を通して学んだことを右のように分けて書いてくれています。

### ①仕事の厳しさ、大変さ

集中すべき作業が多く、精神力が大切だと感じた。また高校で学んだことだけでは対応しきれないこともあり、仕事をしてみなければ分からないこともあると実感した。

### ②チームワークや職場の雰囲気の大切さ

職場の方は効率的に仕事を進めていた。教え合う・助け合うといった職場内のチームワークの重要性を感じた。また職場の雰囲気が明るく、この職場なら毎日元気に働けると思った。

### ③ほかの企業とのつながり

様々な企業との関係性がある業種と感じた。お客様の笑顔を見ると補助していただけた自分でもうれしくなった。どんな仕事でも人と人とのつながりは大切だと改めて思った。



## エコアクション 21 今夏もエコにつながる

活動をしています。

### 【ゴミ拾い活動】



### 【グリーンカーテン】



今年はメロンも育ててみました。驚くほど甘くジューシーでした！

## 社員コラム Vol.9



## 柳橋 絵美子の音楽の力ってすごいです!!



みなさんには何気なく聞いた流行の曲や、偶然耳にした曲、その出会いが実は(大袈裟ですが)運命の出会いだった、そんな経験はありますか？私は「運命の1曲」のおかげで出会えたバンドがあります。今回は私とそのバンド「ONE OK ROCK」との出会いについてお話します。

私が「ワンオク」を知ったのは今から3年程前です。当時『るろうに剣心』という漫画の実写版映画が公開されていました。主演が私の好きな俳優さんだったので映画を観にいったのですが、そのときの主題歌が「ワンオク」の曲でした。本編が終わりエンドロールで流れてきた曲に何とも言えない衝撃を受けました。「ハートを打ち抜かれた…」では足りません。圧倒され、引き込まれ、とにかくその曲を聞き逃すまいと聴き入りました。曲の入りは英語で発音がとても美しく、最初は洋楽だと思いました。ところが曲の所々に日本語が混じっている。「ん？この曲なに？日本人が歌っているの!？」これはほんでもない衝撃でした。

この出会いから私は「ワンオク」にすっかり夢中になり、「ワンオク」について様々なことを知っていきました。彼らのいつでも前向きで中途半端なことをせず、常に上を目指す姿勢には共感できる部分が多く、ますます彼らの音楽に惹かれました。彼らの曲を聴いて私は、励まされたり、背中を押されたり、気付かされたり…しました。誰かの曲でそんなことを実感するのは初めてでした。

私には2人の子供がいますが、まだまだ心配な部分も多く、育児に悩み、心が折れそうになることも少なくありません。そんなときに単なる気分転換としてではなく、「励まされたい、力をもらいたい」と思って彼らの曲を聴くことが多いです。私にとって彼らの曲や存在は、単なる「好きな歌手・お気に入りの曲」ではなく、(実際には彼らは遠い存在ではあるものの)「すぐ近くで私を支えてくれる存在」です。私は彼らと出会うまでは、音楽にそこまでの力があるとは思っていませんでしたが、今では「音楽の持つ力って本当にすごい」と感じています。

私が「ワンオク」のことを知った当時は、彼らはテレビや雑誌などの一般的なマスメディアにほとんど出ていませんでした。私の主な情報源がそれらのマスメディアであることを考えると、彼らと出会う確率は実はかなり低かったのかも…と最近感じています。そのため、あの日あの曲を聴いたのは正に「運命」だったのではないかと今でも思っています。私はこの出会いを大切に、私に元気をくれる彼らをこれからも応援していきたいと思えます。



陸ワンオクコレクションの一部(^.^)

## ネクスト環境の壺… (編集後記)

皆さんお盆はいかがお過ごしだったでしょうか？今夏はいつも以上に盛夏でしたが、お盆が過ぎるとぐっと涼しくなり過ごしやすくなったように思えます。季節の変わり目ですので、体調に十分気を付けてお仕事頑張ってください。さて、このNKC通信も発刊してからとうとう10号を数えました。ここまで楽しく継続できたのも、いつもご愛読されている方々や多大なご協力を頂いているお客様のお陰でございます。当初はエコアクション21活動の一環として、お客様とのコミュニケーションツールを目指し活動してきたわけですが、当初の目標以上の成果があったように思います。今号で私は編集長並びに会社を辞めることになりましたが、菅野編集員及び小杉編集員という優秀な社員が今後も盛り上げてくれることを祈念しまして、最後の編集後記といたします。今まで有難うございました。

(文責 編集長 小関治)

ネクスト環境のゆかいな仲間たちの旅はまだ続く…

NEXT